



さがみはら津久井産材普及啓発チラシ 「TREES FROM TSUKUI 第2弾」 が完成しました!!

さがみはら津久井産材利用拡大協議会^(※1)のご協力により、相模原の誇るさがみはら津久井産材^(※2)の普及啓発用チラシ“第2弾”が完成しましたので、お知らせします。

●木の未来を考えよう

「ツリーズ フロム ツクイ」

(1) 概要

津久井産材の普及啓発を目的としたチラシ第2弾です。

(2) 内容

○林業・製材業を知ろう

“お寿司”に見立てた木材の“素材”から「林業・製材業」を“目で見て知る”ことができます。

○木製品

- ・津久井産材の家 ・木製ガードレール
- ・ナラ枯れ材を使用した市内小学校の学習机

(3) 主な配付場所

- ・各公民館（中央公民館、橋本公民館、大野南公民館等）
- ・各図書館（市立図書館、橋本図書館、相模大野図書館等）
- ・各まちづくりセンター（大沢まちづくりセンター等）

是非お手にとってご覧ください♪



※1 さがみはら津久井産材利用拡大協議会（事務局 森林政策課）

林業関係事業者18者、オブザーバー（神奈川県森林保全課など）で構成する協議会。さがみはら津久井産材の利用の拡大を図るとともに、本市の林業の振興に寄与することを目的としています。

※2 さがみはら津久井産材

相模原市内で生産された針葉樹、広葉樹等の木材で、丹沢山の北側の寒冷な土地で育ち、年輪の目が詰まり虫食いが少ないと言われています。



さがみはら津久井産材公式ロゴ

市ホームページにでもご覧いただけます👉



市ホームページ

問合せ先
森林政策課
電話 042-780-1401
担当 石田



木の未来を考えよう
「ツリーズ フロム ツクイ」

TAKE FREE
¥0



発行 相模原市
編集 さがみはら津久井産材利用拡大協議会
電話 042-780-1401
発行日 2023年4月



好評連載：

届け！森に感謝のリリック！

漫画「森林ラッパー ひのきんぐ」

素材生産者は森林の守り人

知っていますか？木の部位

特集：林業・製材業を知ろう



つくいのき

林業

製材業

つくいのき

さがみはら津久井産材

林業者専用LINEスタンプ

林業・製材業を知ろう

マグロのお寿司、元は海に泳ぐ魚から。
木材は、森に生えていた樹木から。



芯持ち

丸太の中心部分、芯材とも呼ばれます。耐朽性があり乾燥させたあとも狂いが少ないため、主に柱や梁として使用される。

柾目

「柾目の赤身」は、いわば大トロ。中心を通して切り出した時に現れる縦縞状の木目で狂いが少ない。柾目の材は主に建具などに使われる。

赤身

丸太の中心の色が樹種によつては色が濃く赤っぽいためこのように呼ばれます。外側部分の「白太」に比べ、耐朽性に優れ、虫にも食われにくい。

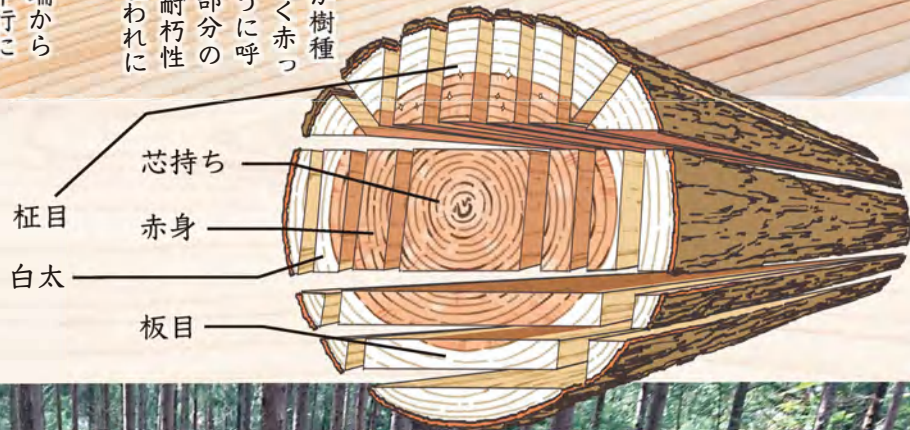
板目

丸太の端から端まで平行に切り出した時にできる木目断面を見ると年輪が山形に見えるのが分かる。



【木の部位 参考図】

部位の呼び名は地域や業種によって異なり製材方法(切り方)は用途によって様々に変化します。



素材生産者は森林の守り人

マグロの一本釣りならぬ、樹木の一本伐り。樹木もまた生き物、一本として同じものではありません。一本一本、特徴や生育状況、環境を見極めて、安全に丁寧に伐採、森林の保全を行います。

ちなみに...

森林のはたらきによって作られた栄養分は、河川を通じて海に運ばれ、プランクトンを増やし、魚の繁殖できる環境をつくります。





気のせいではなく木の精です。木の立場から皆さんとコミュニケーションをとりたいそう思っています♪

材木商は材木のスーパーマーケット

材木商は、木材・建材・住宅機器の専門店。ずらっと並んだ様々な樹種の木材や建材は見るだけでワクワクしませんか？
ここから様々な現場へ材木が旅立っていきます。



相模原木材センター

あらゆる材木で作られる家

家は様々な樹種、部位の材木で作られます。木を知り尽くした製材所、材木店、大工、設計士の知恵と技術が詰まっています。



提供：創和建设

障子は大トロ「柎目」です。

東京都内のショールームに展示中の「SDGs 障子」は全てさがみはら津久井産材で作られました。障子の枠は細いにも関わらず開け閉めや張り替えなど負荷が掛かるため、目の真っ直ぐな「柎目」が使われます。希少部位「柎目」の特徴が発揮される舞台です。



提供：井上製材所

素材を活かした木製ガードレール

相模原に木のガードレールが設置されました！素材を活かして街並みを美しく、これも素材を知ればこそ、ですね。
これからどんどん増えて行くといいですね。



提供：さがみはら津久井森林組合

全ての部位は無駄にしません。

今、相模原市の小学校の学習机は、さがみはら津久井産材の天板に変わってきています。その中には「ナラ枯れ」により伐採されたナラの木材も使用されています。やむなく伐採された木も無駄にせず生活の中に取り入れ、有効活用をしています。



提供：MORIMO「森の机事業」



原作：M太郎
作画：さとうあや

林業者専用LINEスタンプ発売中！

さがみはら津久井産材利用促進・普及啓発事業補助金

「林業者専用 LINE スタンプ」
「林業者専用 LINE スタンプ 2」

illustrated by Eichan

好評につき、第二弾も発売しちゃいました。林業者の皆さんはもちろん、意外と使える専門用語で日常に森林の風を吹かせちゃってください。

LINE
クリエイターズ
マーケットで
検索！！



ご存知ない方も多いかもしれませんが「さがみはら津久井産材」の利用に対して相模原市の補助金制度が適用されるケースがあります。詳細な条件については相模原市のホームページへ！
(右のQRコードから詳細ご覧いただけます)



さがみはら津久井産材利用促進・普及啓発事業補助金に関する詳細はコチラ↑

どんどん使おう 津久井の森の木



森林が生活環境を守ってくれるんです！

地球温暖化等の影響により、猛暑や干ばつ、豪雨などの異常気象が生じており、その対策が求められています。更には、温暖化の原因となっている二酸化炭素（CO₂）を削減し、脱炭素社会の実現を目指す必要があります。

令和元年東日本台風により、津久井地域の山林は未曾有の被害を受けました。これは、昭和30年代に植林された人工林がその後の林業の衰退により、間伐などの整備がされていないことも一因になっています。光合成により、CO₂を固定してくれる木は、伐採しても利用せず放置したままだと朽ちてCO₂を発します。伐採木を木材に加工し活用することで、CO₂を固定するとともに、木の持つ抗菌作用、湿度調整機能などが発揮されます。

このように私たちの生活環境を守ってくれる木を建材・家具・木工品などに活用し、更に地元材を使うことで地元林業の再生の源にもなります。

今、自然環境にとっても、住環境にとっても、地元材の活用が求められています。



古紙ハルブ配合率60%再生紙を使用